

平成21年度技術士第二次試験問題〔農業部門〕

選択科目【12-7】植物保護

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1, I-2）について解答せよ。

I-1 次の3設問のうち、1設問を選んで解答せよ。（解答設問番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

I-1-1 農薬使用をはじめとする植物保護関連技術については食の安全を確保する観点から、さまざまな対策が講じられているが、その現状を解説し、また、残された課題とその対応策についてあなた自身の考えを述べよ。

I-1-2 植物保護と関連して、農業生産と農業を取り巻く生物多様性との関連を論じて、生物多様性保全について、その課題と考えられる対応策を述べよ。

I-1-3 平成18年に「有機農業推進法」が制定され、植物保護についてはIPM実践指針が各作物で作成され普及が図られているが、その現状について述べると共に問題点を挙げ、今後の対応策を述べよ。

I-2 次の6設問のうち、Aグループ（I-2-1～I-2-3）の中から1設問、Bグループ（I-2-4～I-2-6）の中から1設問を選び、それぞれ解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、Aグループは2枚以内に、Bグループは1枚以内にまとめよ。）

Aグループ …（2枚以内）

I-2-1 ポジティブリスト制度について解説し、この制度発足後の農家の農薬散布の変化について述べよ。

I-2-2 最近の害虫、病気及び雑草の農薬に対する抵抗性の現状と対策について述べよ。

I-2-3 病害虫の診断・同定技術としての遺伝子診断技術を解説し、顕微鏡による形態観察技術と比較して、その長所と短所を述べよ。

Bグループ … (1枚以内)

I-2-4 植物保護の視点から、世界経済のグローバル化（農産物貿易の自由化等）に伴う課題とその対応策を述べよ。

I-2-5 特定防除資材（特定農薬）について解説し、今後のあり方について述べよ。

I-2-6 土壌消毒に関する技術を解説し、課題とその対応策を述べよ。